

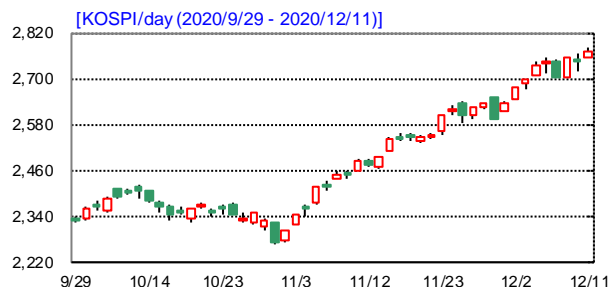


## 【韓国】 総合指数は 1.4%高と 6 週続伸、経済見通しの好転で最高値更新

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.4%高と 6 週続伸。週明け 7 日に 5 営業日続伸となり、翌日以降は反発と反落を繰り返す展開。心理的節目の 2700 ポイントをサポートラインに底堅く推移し、11 日に終値ベースの過去最高値を更新した。同日発表の韓国の 12 月上旬の輸出が好調で、景気持ち直しの兆しと受け止められた。アジア開発銀行 (ADB) が 10 日、韓国の 2020 年の国内総生産 (GDP) 成長率見通しを上方修正したことも投資家心理を支えた。ただ、米国の追加経済対策の協議難航に加え、韓国国内の新型コロナ感染者数の増加を嫌気する売りも出て、上値が重い場面が目立った。一部のアナリストの間では「米経済対策とワクチンの遅れから、もう一段の上昇余力はなさそうだ」といった見方も出ている。今週は 2800 ポイントを試すか。

### ▼指数チャート



## 【ロシア】 RTS 指数は 4.1%高と 6 週続伸、今週は FOMC の金融緩和策が焦点か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 4.1%高と大幅に 6 週続伸。原油高、ルーブル高、ECB の追加緩和策、コロナワクチンの普及期待などが支援となった。週明け 7 日は原油高やルーブル高を背景に指数は前営業日比 0.8%高。8 日は小幅に反落したが、経済活動正常化への期待で 9 日に反発すると、10 日は原油高、ECB の追加緩和措置、米国でのコロナワクチン使用承認の見通しなどを好感し、2.3%高。11 日も 0.6%高と 3 日続伸した。RTS 指数は 10 日に 2 月下旬以来となる 1400 ドルを上回ると、11 日は 1413.56 ドルまで上昇し、1412.88 ドルで終了した。個別ではエネルギーのガスプロムやルクオイル、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが大幅高で指数を押し上げた。今週はコロナ感染拡大、原油相場、FOMC での金融緩和策が焦点か。

### ▼指数チャート



## 【ベトナム】 ベトナム指数は 2.4%高と 6 週続伸、今週も成長見通しを背景に堅調か

か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 2.4%高と 6 週続伸。良好な経済見通しを背景に海外からの資金流入が続き、2 年 7 カ月ぶりの水準を回復した。VN 指数が前週まで 5 週続伸し、13 カ月ぶりの戻り高値を更新したことで、高値警戒感から利益確定売りに押される場面もあったが、良好な経済見通しを背景に海外からの資金流入が続き、大型株を中心に堅調相場が続いた。VN 指数は 8 日、10 日に下落したものの、11 日は前日比 1.5%高の 1045.96 ポイントで終了し、2018 年 5 月以来、2 年 7 カ月ぶりの水準を回復した。個別では、金融のベトナム投資開発銀行、ベトナム銀行や不動産のノー・パー・ランド・インベストメント・グループ、鉄鋼のホア・ファット・グループが大幅高となり、指数を押し上げた。今週も経済成長見通しを背景に堅調な展開か。

### ▼指数チャート

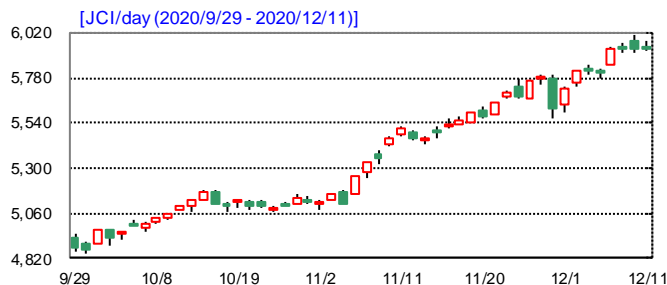


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.2%高、中国製ワクチンの到着を好感**

ジャカルタ総合指数は4日間の取引で2.2%高と10週続伸。週初の上昇が指数を押し上げた。7日は新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりする中、前日に中国製のワクチンがインドネシアに到着したことが買い材料視され、指数は前営業日比2.1%高と反発し、終値で約10カ月ぶりに5900ポイントを超えた。8日も続伸した後、休場を挟んだ10日は場中に一時、6000ポイント台に乗せたが、政府によるたばこ税率の引き上げ発表を受けて売られ、終値では反落。ただ、11日には反発している。今週は15日に11月の貿易統計が発表されるほか、17日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

### ▼指数チャート

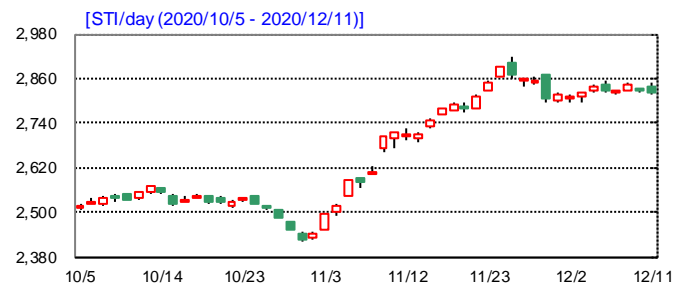


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.6%安、今週は 11 月の非石油地場輸出に期待**

ストレーツタイムズ指数は週間で0.6%安と続落。国内の重要イベントが少ない中、外部要因が指数を左右した。週初の日曜日は、中国株の下落に連動して3営業日ぶりに反落。8日は前日からほぼ横ばいだったが、9日は前日のNYダウが新型コロナウイルスワクチンの普及に伴う景気回復への期待感の高まりを受けて反発した効果で、銀行大手3行が指数上昇をけん引した。ただ、10日に米国の追加経済対策に対する先行き不透明感が広がった影響などで反落すると、11日も小幅に続落して取引を終えている。今週は17日に11月の非石油地場輸出が発表される予定で、2カ月ぶりに前年同月の水準を上回るかが焦点。

### ▼指数チャート

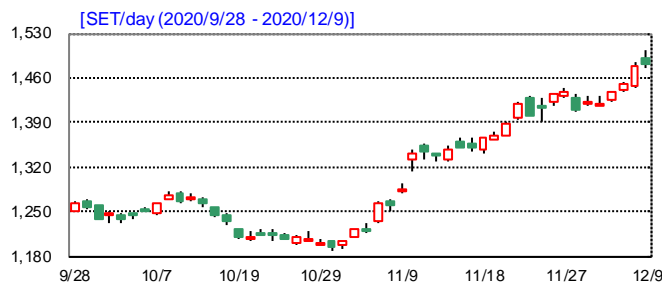


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.3%高、9 日の場中に 1500 ポイント台を回復**

SET 指数は2日間の取引で2.3%高と6週続伸。国内の経済指標発表が少ない中、堅調な値動きだった。連休明けの8日は、各国で進む新型コロナウイルスのワクチン実用化に向けた動きを背景に指数は前営業日比2.0%高と3日続伸。9日は前日に英国でワクチン接種が始まったことや、ドバイ原油のスポット価格上昇が買い材料視され、場中に一時、約10カ月ぶりに1500ポイント台に乗せたが、終値ではこの水準を割り込んで連休前の取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少なく、15-16日に開催される米FOMCや、中国の11月の鉱工業生産と小売売上高などの外部要因が指数を左右する展開か。

### ▼指数チャート



## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 3.9%高、週末に終値で 19 年 7 月以来の高値更新**

クアラルンプール総合指数は週間で3.9%高と6週続伸。週初から5日続伸と好調だった。7日に小幅反発すると、8日は9-11月期の決算発表を翌日に控えたゴム手袋大手のトップ・グローブが指数上昇をけん引。9日は無償増資計画を発表したパブリック銀行が買われた。10日は金融のCIMBグループ・ホールディングスのほか、前日に発表した9-11月期の純利益が前年同期の20倍超に増加したトップ・グローブが大幅高。11日は金融株を中心に買い優勢の展開となり、指数は終値ベースで前日比1.8%高と19年7月以来の高値を更新した。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が意識されそうだ。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。